

箱根地区水道事業包括委託実施状況等評価委員会 委員名簿

(外部委員は五十音順、敬称略)

会 長 眞柄 泰基 全国簡易水道協議会相談役
副会長 長岡 裕 東京都市大学工学部教授
委 員 池田 陽子 明大昭平・法律事務所弁護士
委 員 木村 康則 公益社団法人日本水道協会工務部長
委 員 長谷山信一 神奈川県企業庁企業局技監兼水道部長

箱根地区水道事業包括委託実施状況等評価委員会 検討経過

委員会	開催年月日	内 容
第 1 回	平成 28 年 11 月 7 日	・ 企業庁が実施した実施状況等の評価について確認 ・ 関係部署への質疑応答の実施
第 2 回	平成 29 年 2 月 1 日	・ 第 1 回の内容を踏まえて、事前に記入した意見表を もとに実施状況等に係わる意見を述べた

企業庁の検証に対する当委員会の意見

1 これまでの実施状況に対する当委員会の主な意見

(1) 中小規模水道事業の経営健全化に資するモデルの構築

- ・ 安心・安全・安定な水道水の供給の確保について、問題は無かったと思われる。
- ・ 今回の委託モデルで問題なく事業を実施していることは評価できる。
- ・ モニタリング項目数などは、当初としては良いかもしれないが、項目数が多すぎるように思われる。
- ・ 箱根地区のお客様に対する本事業の周知が十分でないと思われる。

(2) 民間の経営ノウハウを活用による箱根地区水道事業の効率化

- ・ 未納整理債権の収納率の向上、電力消費量の減少など、民間ノウハウの活用がなされたと思われる。
- ・ 周辺自治体・関係機関との危機管理の連携については、貴重な経験であったと思われるため、詳細に記録し、結果を分析することなどが望まれる。

(3) 受託事業者における水道事業の運営実績づくり、運営ノウハウの習得

- ・ 企業庁の業務要求水準を満たしていたことが確認できる。

2 事業後半に向けた当委員会の主な意見

(1) 中小規模水道事業の経営健全化に資するモデルの構築

- ・ 標準業務フローとマニュアルによる技術継承については、これまでの現場での工夫が生かされるような現実的で柔軟なマニュアルが望まれる。
- ・ 本事業の周知については、引き続き周知に努めることが望まれる。

(2) 民間の経営ノウハウを活用による箱根地区水道事業の効率化

- ・ 効果的な IT ツール等の導入について、積極的に取り入れていくことが望まれる。
- ・ 更なる民間ノウハウの発揮が望まれる。